

# エコアクション21

## 環境活動レポート

平成28年度版

平成28年4月 ~ 平成29年3月



平成29年 5月 19日作成



株式会社 光商会

## 目次

1. 組織の概要	3～7
2. 対象範囲	8
3. 環境方針（環境理念と環境方針）	9
4. 環境目標(新年度)	10
5. 環境活動計画(新年度)	11
6. 環境目標の実績とその評価	12
7. 環境活動計画の取組結果とその評価	13
8. 次年度の取組	14
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	15、16
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	17
11. その他の紹介	18、19

# 1. 組織の概要

## (1) 社名及び代表者名

株式会社 光商会

代表取締役 加藤 相哲

## (2) 事業所及び所在地

NO	事業所名	所在地	主な業務内容		スタッフ
1	本 社	長野県木曾郡 木曾町新開2294番地1	総務、関連工場の統括業務 営業活動、水処理施設維持管理業務		12
2	黒川事務所	長野県木曾郡 木曾町新開4581番地1	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業務		13
3	上田プレスセンター	長野県木曾郡 木曾町新開1754番地1	一廃中間処理施設(古紙・アルミ・溶リプラ)		4
4	エコタウン第一工場	長野県木曾郡 木曾町新開9888番地1	" 発泡スチロール ペットボトル・蛍光管		1
5	エコタウン第二工場	長野県木曾郡 木曾町新開9941番地1	一廃 産廃	中間処理施設(動植物性残渣)	3
6	塩尻支店	長野県塩尻市大字 宗賀字日出塩6064番地4	事務 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業務		5
7	積替保管所	長野県木曾郡 木曾町新開2359番地1	積替え保管施設(汚泥・廃油)		-

## (3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 佐藤 雅幸 (専務取締役)

環境推進事務局 岡田 拓也 (総務部)

事務局連絡先 TEL 0264-22-2067 FAX 0264-23-2515

E-Mail hikari\_sk@ju.kiso.ne.jp

URL <http://kiso-hikari.com/>

## (4) 事業規模

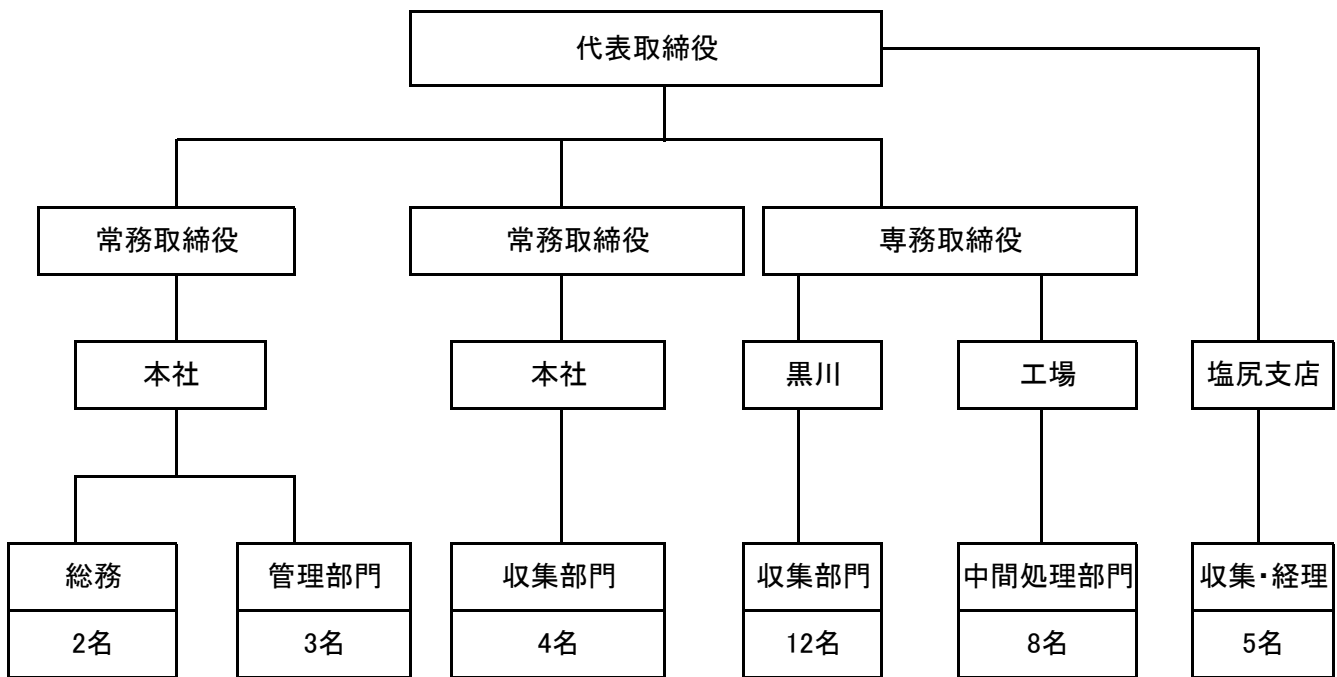
活動規模	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	百万円	306	309	308
従業員	人	35	35	38
床面積	m <sup>3</sup>	3,655	3,655	3,655

(5) 法人設立年月日

設立 平成17年4月1日（創業 昭和33年5月16日）

(6) 資本金 3,000万円

(7) 組織図



3. 事業の内容

1) 事業内容

- 1. 産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬
- 2. リサイクル(再資源化)処理
- 3. 下水道・農業集落廃水処理施設維持管理
- 4. 浄化槽維持管理

2) 許可内容

収集運搬・処分業の許可一覧表

区分	県・政令市町村	許可	許可年月日	許可番号	事業の範囲
			有効年月日		
産廃	長野県	収集運搬 (一部積替え保管)	平成28年10月18日 平成33年10月17日	2014080841	廃酸・廃アルカリ・廃プラ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・煤塵・燃え殻・紙くず・木屑・鋸屑・繊維くず・瓦礫類・動植物性残渣・動物の糞尿・動物の死体(以上特管物を除く) 積替え保管は有機性汚泥・廃油
		処分	26年2月6日 31年2月5日	2024080841	中間処理(堆肥化)(動植物性残渣)
	岐阜県	収集運搬	廃止	—	—
	山梨県	収集運搬	平成26年8月19日 31年8月18日	01900080841	動植物性残渣
一廃	長野県	一廃処理施設設置	15年5月29日	第03-08401号	圧縮梱包施設(古紙・廃プラ・アルミ缶・ペットボトル)
	長野県	〃	19年2月1日	第06-06201号	堆肥化施設(生ごみ)
	木曾町	処分	29年4月1日 31年3月31日	28木曾環第107号	圧縮梱包、減溶、破砕 〔紙くず・廃プラ・アルミ・繊維くず〕 蛍光管は特管一廃を除く
		収集運搬	29年4月1日 31年3月31日	28木曾町環第106号	一般家庭及び事業所から排出される可燃物、不燃物、リサイクル資源、粗大ごみ等一般廃棄物(特管物を除く)及び有機性汚泥
		処分	27年9月1日 29年8月31日	27木曾環第23号	堆肥化(動植物性残渣)
		処分	28年9月1日 30年8月31日	28木曾町環第65号	破砕(木くず)
	上松町	収集運搬	28年7月1日 30年6月30日	上松町指令第28-2号	一般家庭及び事業所から排出される可燃物、不燃物、リサイクル資源、粗大ごみ等一般廃棄物(特管物を除く)及び有機性汚泥
		処分	27年8月21日 29年8月20日	上松町指令第27-1号	破砕(木くず)
	南木曾町	収集運搬	27年11月15日 29年11月14日	南木曾町指令27南建第317号	一般家庭及び事業所から排出される可燃物、不燃物、リサイクル資源、粗大ごみ等一般廃棄物(特管物を除く)及び有機性汚泥
		処分	27年8月13日 29年8月12日	27南建第199号	破砕(木くず)
	大桑村	収集運搬	28年2月1日 30年1月31日	27大住第100-9号	一般家庭及び事業所から排出される可燃物、不燃物、リサイクル資源、粗大ごみ等一般廃棄物(特管物を除く)及び有機性汚泥
		処分	27年9月1日 29年8月31日	大桑村指令27住第83号	破砕(木くず)
	王滝村	収集運搬	29年4月1日 31年3月31日	28王滝村指令第19号	一般家庭及び事業所から排出される可燃物、不燃物、リサイクル資源、粗大ごみ等一般廃棄物(特管物を除く)及び有機性汚泥
		処分	27年8月21日 29年8月20日	27王産環第10-2号	破砕(木くず)
	木祖村	収集運搬	27年12月1日 29年11月30日	27木住第550号	一般家庭及び事業所から排出される可燃物、不燃物、リサイクル資源、粗大ごみ等一般廃棄物(特管物を除く)及び有機性汚泥
		処分	27年8月19日 29年8月18日	27木住第370号	破砕(木くず)
	塩尻市	収集運搬	29年4月1日 31年3月31日	塩尻市指令29生第12-3	事業系一般廃棄物、家庭系一時多量ごみ、特定家庭用機器
		〃	〃	塩尻市指令29生第12-4	尿尿及び浄化槽汚泥
		〃	〃	塩尻市指令29生第12-5	生活排水に係る有機性汚泥、廃食油
		〃	〃	塩尻市指令29生第13	剪定木・草・落ち葉等の植物廃材限定
		浄化槽清掃	〃	塩尻市指令29生第12-6	浄化槽清掃
	松本市	収集運搬	28年4月1日 30年3月31日	松環業指令28号	動植物性残渣・特定家庭用機器
	岡谷市	収集運搬	28年7月23日 30年7月22日	岡谷市指令第407号	一般廃棄物(生ごみ)
諏訪市	〃	28年4月1日 30年3月31日	(28)環収集第46号	〃	
茅野市	〃	28年4月1日 30年3月31日	茅野市指令28美第1-35号	〃	
富士見町	〃	28年4月1日 30年3月31日	富建生第028号	〃	
伊那市	〃	29年4月22日 31年4月21日	2011001	〃	
安曇野市	〃	28年10月1日 30年9月30日	安曇野市指令28廃第166号	〃	
駒ヶ根市	〃	27年11月16日 29年11月15日	環境~13-33	〃	
下諏訪町	〃	29年4月1日 31年3月31日	28住掃第177-6号	〃	
箕輪町	〃	29年5月30日 31年5月29日	29住環第52号	〃	
南箕輪村	〃	28年11月6日 30年11月5日	28住指令第54-16号	〃	
下水道	国土交通省 関東地方整備局長	下水道処理施設 維持管理業者	26年10月21日 31年10月20日	国調整計管下雑第154号	下水道処理施設維持管理
浄化槽	長野県	浄化槽保守点検 業者	25年6月8日 30年6月7日	長野県知事登録25第089901号	浄化槽保守点検(木曾町・木祖村・王滝村・塩尻市)
積替保管	塩尻市	収集・積保	28年8月15日 30年8月16日	塩尻市指令28生第1-20	一般廃棄物(生ごみ)

(イ)施設等の状況

運搬車両の種類と台数

パッカー車 8t 2台	ダンプ車 2t 5台	バキューム車 10t 3台
パッカー車 4t 2台	トラッククレーン 4t 1台	バキューム車 6t 1台
パッカー車 3t 3台	トラッククレーン 3t 1台	バキューム車 4t 1台
パッカー車 2t 3台		バキューム車 3t 3台
フックロール 8t 2台		
フックロール 4t 1台		

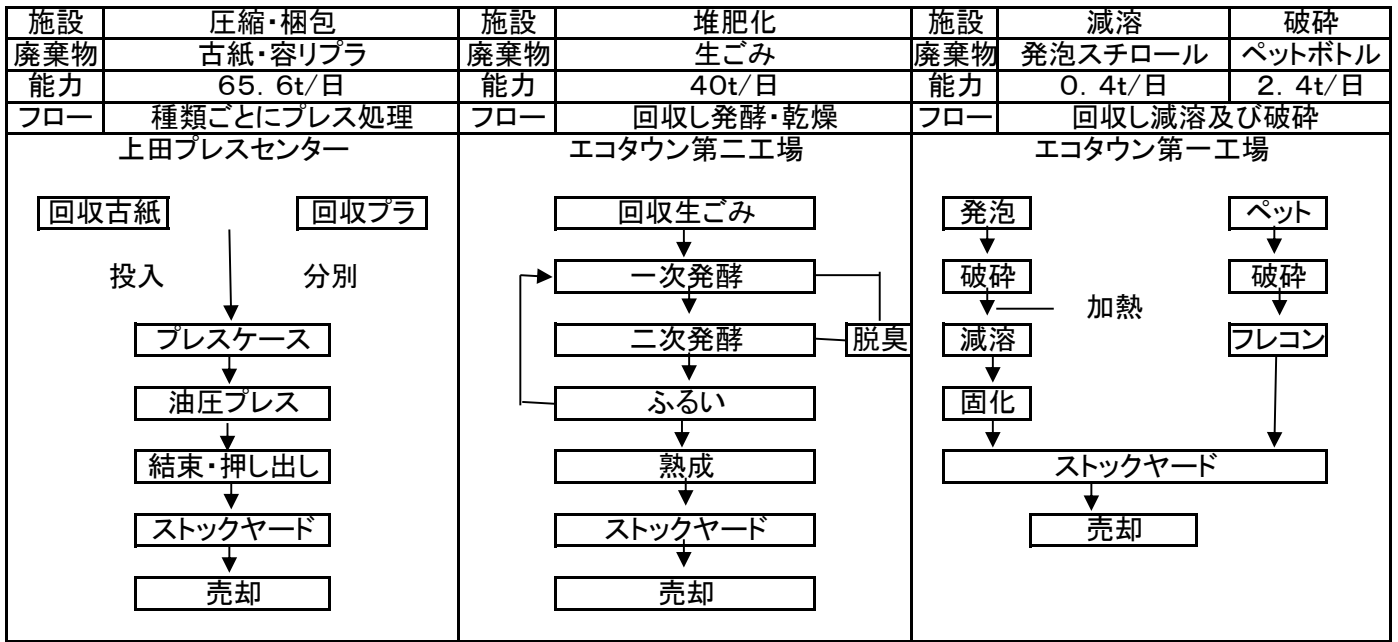
積替保管場所

所在地 長野県木曾郡木曾町新開 2359-9  
種類 汚泥・廃油(以上いずれも特別産業廃棄物であるものを除く)  
面積 295.03m<sup>3</sup>  
保管上限 汚泥16m<sup>3</sup> 廃油3.6m<sup>3</sup>

処理施設の種類

種類	廃棄物	処理能力	処理方式	処理施設
圧縮・梱包施設	古紙・アルミ	65.6 t/日	油圧一方締めプレス機	上田プレスセンター
堆肥化施設	生ごみ	40 t/日	スクープ式発酵・攪拌機	エコタウン第二工場
減溶施設	廃プラ(発泡スチロール)	0.4 t/日	溶融固化減容機	エコタウン第一工場
破碎施設	廃プラ(ペットボトル)	2.4 t/日	一軸式スクリーン付破碎機	エコタウン第一工場
	蛍光管	8,000 本/日	回転ハンマー式(4枚式ブレード)	エコタウン第一工場

## 処理工程図



### (ウ) 処理実績

#### 一般廃棄物及び産業廃棄物の処理量

処理方法等	種類	処分方法等	一般廃棄物 t	産業廃棄物 t
収集運搬	古紙	/	1,386.51	廃プラ 2.07
	金属		100.67	混合 18.33
	容リプラ		41.65	がれき類 6.75
	ペットボトル		34.52	ガラス・陶磁器くず 2.58
	発泡		8.61	タイヤ 4.03
	生ごみ		1,570.93	生ごみ 349.77
	し尿・汚泥		6,107.27	汚泥 18,175.29
	家庭系ごみ		916.13	
	事業系ごみ		909.18	
収集運搬量合計			11,075.47	18,558.82
中間処理	古紙	圧縮・梱包	1,386.51	
	金属	圧縮・梱包	30.50	
	ペットボトル	破碎	34.52	
	発泡	減容	8.61	
	容リプラ	圧縮・梱包	176.05	
うち再資源化等	生ごみ	堆肥化	1,848.91	生ごみ 386.51
	再資源化等量小計		1,848.91	再資源化 386.51
中間処理合計			3,485.10	386.51

### (エ) 事業計画の概要

一般・産業廃棄物の収集運搬業務においては、長野県木曾北部エリアを活動の中心とし、中間処理(再資源化)業務においては、長野県中・南信地区までに事業展開する。

わたしたちは、『人と環境にやさしい』循環型社会を目指す企業です。  
一般・産業廃棄物の収集・運搬から処理、水処理施設の維持管理まで、  
“まかせて安心・確実”をモットーに努めます。

## 2. 対象範囲

### (1) 認証・登録範囲

① 対象事務所(全事業所)

本社、黒川事務所、上田プレスセンター、エコタウン第一、第二工場、塩尻支店、積み替え保管施設

② 対象事業活動(全事業活動)

一般廃棄物の収集運搬・中間処理(圧縮・粉砕・溶融)

産業廃棄物の収集運搬・中間処理(動植物性残渣の堆肥化)

下水道処理施設・農業集落排水処理施設・浄化槽の維持管理

### (2) レポートの対象期間及び発行日

① 対象期間

平成28年4月から平成29年3月

② 発行日

平成29年5月19日



### 3. 環境方針

#### 環境理念

株式会社 光商会 は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理の業務を通じて、自然と調和しつつ、自主的、積極的な活動を行うことが、世界共通の重要な課題と認識し、事業活動と環境保全の調和を目指します。

また、当社活動のリサイクル製品及びサービスの品質とシステムを継続的改善し、豊かな社会の実現とかけがえのない地球環境を次世代に継承することを目指します。

#### 環境方針

1、省資源・省エネルギーを目指した事業活動の中で、環境に有益な影響を与え得るリサイクル製品の取扱、並びに地域への社会貢献とコミュニケーションを推進することによって、システムの継続的改善と汚染の予防に努めます。

(1)中間処理では、受託した動植物性残渣の堆肥化、古紙・溶りプラ・ペットボトル・発砲スチロール等の再資源化に取り組みリサイクル率の向上に努めます。

(2)収集運搬では、運行管理の向上に努めるとともに車両のエコドライブを推進し省エネと排気ガスの抑制に取り組みます。

2、環境に関する法規制及び当社が同意する協定などを遵守し、環境保全に努めます。

3、当社の事業が環境に与える影響を提言するとともに、当社を支える人々とのパートナーシップを強め、循環型社会の実現を目指します。

4、環境目標を定め、その達成に努めると共に、定期的に見直します。

5、全従業員に、本方針の周知徹底を図り、環境意識の向上に努めます。

6、本方針は社外の求めに応じて、開示します。

制定日 : 平成 18年 12月 1日

改定日 : 平成 25年 5月 30日



株式会社 光商会

代表取締役社長

加藤相哲

## 4. 環境目標 (新年度)

### 環境目標と実績

中期目標として27年度を基準年度とし、1.CO2排出量 2.廃棄物排出量 3.総排水量を3年間で3%削減する。4.5.6.7については向上を目指す。

※注1、年度は4月～3月とする。 ※注2、t = 受託総量 (収集運搬量 + 中間処理量) ※注3、A (向上) B (維持) C (低下)

会社目標			27年度	28年度	29年度	30年度	
1	CO2排出量	Kg-CO2/t	目標	-	16.06 (1%)	15.90 (2%)	15.75 (3%)
			実績	16.22	16.08		
2	廃棄物排出量	Kg/t	目標	-	0.0212 (1%)	0.0211 (2%)	0.0209 (3%)
			実績	0.0215	0.022		
3	総排水量	m <sup>3</sup> /t	目標	-	0.0653 (1%)	0.0647 (2%)	0.0641 (3%)
			実績	0.066	0.076		
4	受託廃棄物のリサイクル率向上		目標	-	A	A	A
			実績	実施	A		
5	コミュニケーションの推進		目標	-	A	A	A
			実績	実施	B		
6	グリーン購入と当社リサイクル製品の品質向上とサービスの推進		目標	-	A	A	A
			実績	実施	B		
7	化学物質使用の管理		目標	-	A	A	A
			実績	実施	B		

評価日 年 月 日

\* 二酸化炭素排出係数は、中部電力(株)H27実績の係数(0.486 kg-CO2/kWh)を採用

5. 環境活動計画（新年度）

作成日 平成29年 3月27日  
 評価日 平成 年 月 日

○：計画 ○：評価 （向上：A 維持：B 低下：C）

活動目標	活動内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	担当者	評価	ランク	
1 CO2排出量の削減	1)燃費向上エコドライブの推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者			
	① 収集運搬ルートの見直しと確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	② ふんわりアクセル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	③ 過積載の禁止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	④ アイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	2)日常業務の管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	工場	①電力不要時の負荷遮断	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			〃
		②処理機の連続運転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			〃
		③照明の適正化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			〃
	事務所	①パソコン・プリンタ等の主電源オフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			〃
		②空調の適温化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			〃
③照明不要時の消灯		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
3)環境委員会による巡回				○				○				○	〃				
2 廃棄物排出量の削減	1)事務所等における発生抑制の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事務局			
	① 使用済用紙・封筒の再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	② 会議・事務手続書類の簡素化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	2)分別手順書の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全係長			
3 水使用量の削減	1)節水の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全係長			
	① 湯沸かし、洗濯時の節水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	② 場内の洗浄、洗車時の節水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃			
	2)節水手順書の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者			
4 受託廃棄物のリサイクル率向上	1)取引事業所広報活動			○				○					○	環境管理責任者			
	① 一般事業所への広報活動			○				○					○	〃			
	② 市町村担当課への広報活動		○						○					〃			
	2)資源化施設のごみ分チェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	部門長			
5 コミュニケーションの推進	1)見学者の受け入れ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者			
	2)地域住民への業務報告会			○						○				〃			
	3)環境安全大会(ボランティア活動参加実施)									○				〃			
6 グリーン購入と当社製品の品質向上サービスの推進	1)エコマーク商品を優先的に購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事務局			
	2)グリーン購入手順書の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者			
	3)本社古紙ヤードの整備と清掃		○		○		○		○		○		○	〃			
	4)処理施設の日常管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中間処理係長			
7 化学物質使用の管理	1)使用量及び保管所の適正管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	維持管理係長			

## 6. 環境目標の実績とその評価

### 環境目標と実績

中期目標として24年度を基準年度とし、1.CO2排出量 2.廃棄物排出量 3.総排水量を3年間で3%削減する。4.5.6.7については向上を目指す。

※注1、 年度は4月～3月とする。 ※注2、 t = 受託総量（収集運搬量＋中間処理量） ※注3、 A（向上） B（維持） C（低下）

会社目標			27年度	28年度	29年度	30年度	
1	CO2排出量	Kg・CO2/t	目標	—	16.06 (1%)	15.90 (2%)	15.75 (3%)
			実績	16.22	16.08		
2	廃棄物排出量	Kg/t	目標	—	0.0212 (1%)	0.0211 (2%)	0.0209 (3%)
			実績	0.0215	0.0220		
3	総排水量	m <sup>3</sup> /t	目標	—	0.0653 (1%)	0.0647 (2%)	0.0641 (3%)
			実績	0.066	0.0766		
4	受託廃棄物のリサイクル率向上		目標	—	A	A	A
			実績	実施	A		
5	コミュニケーションの推進		目標	—	A	A	A
			実績	実施	B		
6	グリーン購入と当社リサイクル製品の品質向上とサービスの推進		目標	—	A	A	A
			実績	実施	B		
7	化学物質使用の管理		目標	—	A	A	A
			実績	実施	B		

評価日 29年 5月 10日

1. 平成27年度実績に対して、平成28年4月から平成29年3月までを活動実績とした。
2. CO2排出量、廃棄物排出量、総排水量全てにおいて、わずかなポイントではあるが、目標を達成できなかった。物質投入量に比べて受託総量が伸びなかったためであると思うが、詳細を分析し、次年度に反映する。
3. 上記 4～7 の項目についての活動は維持できている。  
リサイクル率向上について、自社の活動も活発にしていかななくてはならないが、排出事業所（行政含む）への啓発、広報活動も活発にする。

\* 二酸化炭素排出係数は、中部電力株H27実績の係数(0.486 kg-CO2/kWh)を採用

7. 環境活動計画の取組結果とその評価

作成日 平成 28年 4月 8日  
 評価日 平成 29年 4月 7日

承認	作成

○：計画 ○：評価 (向上：A 維持：B 低下：C)

活動目標	活動内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	担当者	評価	ランク	
1 CO2排出量の削減	1)燃費向上エコドライブの推進	B	A	B	B	C	B	B	B	C	C	B	B	環境管理責任者	①～③については計画通り活動できていたが、④については夏季、冬季の間、守られていない車両が数台あった。 ④について徹底することと①～③の活動を見直す。	B	
	① 収集運搬ルートの見直しと確認	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	② 緩やかな発進と加速	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	③ 経済速度の励行	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	④ アイドリングストップ	B	A	B	B	C	B	B	B	C	C	B	B	"			
	2)日常業務の管理	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			業務の都合上、連続運転不可の時もあったようだが、おおむね計画通りできた。
	① 電力不要時の負荷遮断	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	② プレス・破砕の連続運転	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	③ 照明の適正化	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
3)環境委員会による巡回				B					B			B	"				
2 廃棄物排出量の削減	1)事務所等における発生抑制の推進	A	B	B	B	C	C	B	B	B	B	B	B	事務局	誤った印刷物により、コピー紙をムダにしてしまった。 総務部においては、活動の再確認をする。	B	
	① 使用済み用紙の再利用	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	② 会議・事務手続書類の簡素化	A	B	B	B	C	C	B	B	B	B	B	B	"			
	2)分別手順書の実施	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	全係長			
3 水使用量の削減	1)節水の推進	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	全係長	バキューム車のコックの解凍作業は、コックの凍結を和らげる工夫をしていた。工場の洗浄水が気になる場所であったので、なお一層の節水をする。	B	
	① 朝礼時に節水喚起	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	② 場内の洗浄, 車, 洗濯時の節水	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	"			
	2)節水手順書の実施	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	環境管理責任者			
4 受託廃棄物のリサイクル率向上	1)取引事業所広報活動			A			B			B			B	環境管理責任者	木曾広域連合、木曾町環境協議会等の席上で、リサイクル活動の工夫について話し合った。	A	
	① 一般事業所への広報活動			A			B			B			B	"			
	② 市町村担当課への広報活動		A							A				"			
	2)資源化施設のごみ分チェック	B	B	B	C	C	A	B	B	B	B	B	B	部門長			
5 コミュニケーションの推進	1)見学者の受け入れ	○	○	○	○	A	○	A	○	○	○	○	○	環境管理責任者	見学については、活動エリアを広げ広報したが低迷だった。	B	
	2)地域住民への業務報告会		A	○						○				"			
	3)環境安全大会(ボランティア活動参加実施)									A				"			
6 グリーン購入と当社製品の品質向上サービスの推進	1)エコマーク商品を優先的に購入	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	事務局	計画通りできた。	B	
	2)グリーン購入手順書の実施	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	環境管理責任者			
	3)本社古紙ヤードの整備と清掃		B		B		B		B		B		B	"			
	4)処理施設の日常管理	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	中間処理係長			
7 化学物質使用の管理	1)使用量及び保管所の適正管理	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	維持管理係長	計画通りできた。	B	

## 8. 次年度の取組

作成日 平成29年 3月27日

	活動目標	活動項目	取組		
1	CO2排出量の削減	1) 燃費向上エコドライブの推進	① 収集運搬ルートの見直しと確認 ② ふんわりアクセル ③ 過積載の禁止 ④ アイドリングストップ		
		2) 日常業務の管理	工場	①電力不要時の負荷遮断 ②処理機の連続運転 ③照明の適正化	
			事務所	①パソコン・プリンタ等の主電源オフ ②空調の適温化 ③照明不要時の消灯	
			3) 環境委員会	① 巡回(現地及びEMS実施状況確認)	
		2	廃棄物排出量の削減	1) 事務所等における発生抑制の推進	① 使用済用紙の再利用 ② 会議・事務書類の簡素化
				2) 分別手順書の実施	① 実施
		3	水使用量の削減	1) 節水の推進	① 湯沸かし、洗濯時の節水 ② 場内の洗浄、車両の洗車時の節水
2) 節水手順書の実施	① 実施				
4	受託廃棄物のリサイクル率向上	1) 取引事業所広報活動	① 一般事業所への広報活動 ② 市町村担当課への広報活動		
		2) 資源化施設のごみ分チェック	① 実施		
5	コミュニケーションの推進	1) 見学者の受け入れ	① 工場見学		
		2) 地域住民への業務報告会	① 工場見学・親睦会		
		3) 環境安全大会	① 実施		
6	グリーン購入と当社製品の品質向上サービスの推進	1) エコマーク商品を優先的に購入	① エコマーク商品を最優先に購入		
		2) グリーン購入手順書の実施	① 実施		
		3) 本社古紙ヤードの整備と清掃	① 本社古紙ヤードの整備と清掃		
		4) 処理施設の日常管理	① 実施		
7	化学物質使用の管理	1) 使用量及び保管所の適正管理	① 実施		

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟の有無

### (1) 環境関連法規等取りまとめ表(遵守状況チェック結果)

法規制等の名称	該当要求事項	該当する施設	許可・届出等			点検・測定	遵守状況チェック				
			許可	届出	登録		届出先	実施時期	証拠	評価	結果
										環境管理責任者	
廃棄物処理法	収集運搬業の許可	本社	○			県知事 市町村長	1回/年	許可証(一覧表)	平成 29年 4月 3日 印	○	
	処分業の許可	本社	○			県知事 市町村長	1回/年	許可証(一覧表)	4月 3日 印	○	
	収集運搬基準(表示・書面の携行)	届出車両		○		県知事	〃	現場巡回	4月 3日 印	○	
	積替え保管基準	積替え保管所	○			県知事	〃	表示・保管状況	4月 3日 印	○	
	契約、マニフェスト交付・保管 産業廃棄物収集運搬・処分実績報告	本社		○		県知事	〃	契約書、マニフェスト確認 運搬実績・処分報告書	4月 3日 印	○	
騒音・振動規制法	規制基準の遵守、改善勧告、命令の遵守 特定施設は設置、変更前に届出	エコタウン 第2工場					供用時及び 必要に応じて	測定・分析結果報告書	4月 3日 印	○	
悪臭防止法	供用時に測定	〃					供用時及び 1回以上/年	〃	4月 3日 印	○	
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の運搬と適正処理	全サイト					廃棄時	リサイクル券	4月 3日 印	○	
自動車リサイクル法	使用済自動車を引取業者へ引渡し	本社					〃	〃	4月 3日 印	○	
消防法	指定可燃物・少量危険物の貯蔵と取扱い 取扱施設の構造基準厳守	上田プレスセンター エコタウン1・2工場 本社・黒川事務所		○		木曽消防長	1回/年	届出書 現場巡回	4月 3日 印	○	
PCB廃棄物特別処置法	PCB廃棄保管基準厳守、保管等の届出 特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	黒川事務所		○		県知事	〃	廃棄物の保管等届出書 現場巡回	4月 3日 印	○	
フロン回収破壊法	フロン類回収業者へ引き渡し フロン類の放出の禁止	本社 黒川事務所					廃棄時	引き渡し伝票	4月 3日 印	○	
グリーン購入法	環境物品等を選択推進	本社					購入時	注文書	4月 3日 印	○	

(2) 環境関連法規の違反訴訟の有無

環境委員会等において、遵守状況をチェックし、環境関連法規への違反はありませんでした。

また、同様に、関係機関、及び、近隣住民からの指摘・苦情・訴訟等是一件もありませんでした。



# 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成 29年 5月 24日

(マネージメントレビュー議事録)

承認	作成

実施日時	平成 29年 5月 24日(水)
出席者	社長・佐藤・岡田

見直しに必要な情報				
確認項目	管理責任者の報告			管理責任者のコメント
法規制遵守状況	平成29年 4月 3日 定期評価(環境関連法規取りまとめ表)を実施し、報告			許可証の有効期限、契約書類について、チェックを受け、特に問題はなかった
環境目標・活動計画の実施状況	項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況表	
	CO2排出量	×	B	受託総量が伸びなかった
	廃棄物排出量	×	B	分別の徹底
	総排水量	×	B	工場洗浄水の節水を工夫
	受託廃棄物のリサイクル率	○	B	行政も含め、排出事業所への啓発活動
	コミュニケーションの推進	○	A	地域住民とのコミュニケーションを充実
	グリーン購入とリサイクル製品	○	B	活動は維持できている
化学物質使用量の管理	○	B	活動は維持できている	
内部巡回結果	平成28年 7月・11月、平成29年3月 3回実施した(環境委員会議事録)			結果については係長会議で報告された
是正・予防処置の結果	環境目標の未達成 CO2排出量、廃棄物排出量、総排水量			原因を報告し改善する
外部からの苦情とその処理結果	苦情のなかったことを報告			なし

変更の必要性の有無・指示事項			
項目	有無	管理責任者のコメント・提案	代表者
環境方針の変更の必要性	無	なし	なし
環境目標の変更の必要性	無	なし	なし
その他要素の変更の必要性	有	審査人より環境マニュアル見直しのアドバイスを受け、見直した	全従業員に周知し理解させること(とくに仕組、手順の変更箇所)

## 11. その他の紹介

### (1) コミュニケーション

#### ア. 工場見学受け入れ実施状況(抜粋)

見学施設	月	見学者	人数	備考
エコタウン 第二	4	岡ノ平地区 住民	16	業務報告会
エコタウン 第二	8	木曾町 福島小学校 4年生	42	社会見学
上田 プレスセンター	10	木曾広域連合 各町村担当者	16	現地確認
エコタウン 第二	1	上条区民	19	業務報告会

#### イ. 見学者及び周辺住民への啓発活動

- ① 各施設において、各種リサイクルの重要性と資源化施設の必要性を説明し、施設を安全に案内する。
- ② 各施設のリサイクルフロー等の説明と共に、環境保全に留意した工場であることを理解してもらう。
- ③ 周辺住民には、特に各施設では環境保全に積極的に取り組んでいることを理解してもらうため、日常の作業と施設・工法の改修・改善を実施していることを説明する。
- ④ 広報、啓発にはエリアを広げて活動したが、工場見学等の申し込みが少なかった。  
地域のリサイクル率向上のためにも根気よく活動していきたい。

## (2) 環境安全大会

### (ア) ごみ拾い

特定外来植物駆除作業を予定していたが、荒天のため中止とした。  
本社及び黒川事務所に接する町道、国道のごみ拾いを実施した。

### (イ) EA21 活動報告

### (ウ) 参加者全員による親睦会

## (3) 緊急事態想定訓練

### (ア) 各サイトにおいて「手順書」に従い実施

### (イ) 消防団員(社員)指導のもと、消火栓・消火器による初期消火訓練を行った。

### (ウ) 施設・車両の点検実施

## (4) 実習(研修)の受け入れ

### (ア) 長野県木曾養護学校生徒 1名

- ・実習を通して、自己の特性を見返し、自己理解を図る。
- ・実習を通して、障がい者の職業自立、社会自立について、企業内の従業員はもとより広く地域社会の理解を深める。

### (イ) 木曾町立木曾中学校生徒 3名

- ・働くことの必要性とそれに伴う責任を知り、職業観を高めるとともに今後の進路決定の手がかりとする。

### (ウ) 木曾町職員職場体験研修 2名

- ・職員の資質向上と人材育成を目的として、全職員が地域の職場への派遣研修を実施。